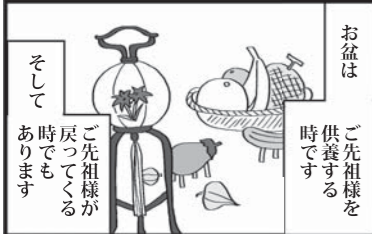


シェアハウス No.9
どねみふあ荘



お盆ごっこ

漫画: 東園子



第1回目の座談会、好評のうちに終了しました！

7月1日、学研本社にて松井先生を囲んでの座談会を開催しました。参加者の先生方から「また是非！」とお声も多数ありましたので、第2弾を企画中です。どうぞ楽しみに！

「よくできたね」と褒めるのではない。「ありがとう、助かったよ」と感謝を伝えるのだ。感謝される喜びを体験すれば、自ら進んで貢献を繰り返すだろう。
(アルフレッド・アドラー「人生に革命が起きる100の言葉」ダイヤモンド出版 小倉広著より)



第29回

先日、私は、ある音楽雑誌の座談会企画に参加させていただきました。座談会のテーマは「上手なご褒美のあげ方」。アドラー流の指導は「ご褒美」は「褒め言葉」と同じなので、ほとんど必要ありません。なので、最初にこのお話をいただいた時、「私にお話できることはないのではないか」とも思ったのですが、読者の方たちに「こんな指導法もある」ということをお伝えできればと思い、思い切ってお引き受けしたのです。この「勇気づけのピアノレッスン」のコーナーで何度もお伝えしている通り、褒めることやご褒美を与えることは、一時的には効果があっても、長い目で見ると良いことばかりではありません。そればかりに頼って指導してしまうと、どんどん要求がエスカレートしていきます。そして、それがもらえなくなった時に、一気にやる気を失ってしまう場合もあるからです。だからと言って、私は「絶対それがいけない」ということを言いたいわけではありません。指導する側が、そういうことも踏まえた上で上手に導いていくことが必要ではないかと考えているのです。子どものやる気を一時的に引き出すために、ご褒美や褒め言葉は、とても手軽な方法と言えます。でもやはり、それだけに頼るのは危険なのではないでしょうか。「よくできたね。」も、言わないよりは言った方が良いのかもしれませんが。でもそれは、上下関係から生まれる評価的な態度であり言葉だと思うのです。それに対して「ありがとう。助かったよ。」は横の関係から生まれる言葉。感謝されたら誰でも嬉しいものです。その経験が、他者への貢献感を育てることになります。そしてその喜びを得ることが、やがては自己信頼にも繋がるとアドラーは考えます。感謝は何よりの勇気づけの言葉なのです。「上手に弾けたね。うまいね。」という言葉より、「今日もピアノを弾いてくれてありがとう。頑張ったね。○○ちゃんがうまく弾けるようになって、私もとても嬉しい。」と、声かけすることによって、子どもたちは喜びを感じ、自ら練習するようになっていくのです。

松井美香 まつい・みか
「勇気づけの音楽家」東京音楽大学ピアノ専攻卒業。学研「愛のピアノレッスン」にて手記を執筆。
<HP>松井美香ピアノ教室 <http://matsuiimika-piano.net>
<ブログ>ピアノの先生のためのモチベーションアップ術 <http://ameblo.jp/makeachangewithlove>
*無料メルマガ好評配信中 (ご登録はブログにてお知らせしています)

新刊情報
みんなだいすき! けんぱんボード
改訂版 編: 丸子あかね 絵: 尾田瑞季

丸子あかね先生の導入教材シリーズ



既刊『けんぱんボード』のピース素材を一新! さらに使いやすくなりました!!

「おとのなまえピース」「おんぷピース」の素材をボードに貼ってはがせるシールにリニューアル。「おとのなまえシール」「おんぷシール」として生まれ変わりました。これまでのピースよりもはがれにくい素材を使用しています!



■207×630mm (けんぱんボードのサイズ) / 本体価格1,400円 (税別)

Gakken

株式会社学研プラス 音楽事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220
学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>
電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>
twitter @gakken_music Facebook gakken.music

Gakken

株式会社学研プラス 音楽事業室
〒141-8415 東京都品川区西五反田2-11-8 TEL: 03-6431-1220

学研 おんがく.net <http://www.gakken.jp/ongaku/>
電子書籍ストア 学研BookBeyond <http://bookbeyond.jp/>
twitter @gakken_music Facebook gakken.music

学研 8月号
おんがく通信

TAKE FREE

突然ですが、みなさんは甘党ですか? 辛党ですか? 今月の Music Quiz は「作曲家とスイーツ」から問題です。大作曲家が手紙に書き残すくらい大好きなスイーツとはなんですか? ちなみに私は葛切りが好きです。ほどよい甘さの黒蜜と冷たい葛切りが…白蜜もおすすめ…食べたい。語るにはスペースが足りません! (お)

2016年7月25日

世界の音楽をたのしもう!

BRAZIL
リオ・デ・ジャネイロの音楽

いよいよ8月5日から、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロで第31回オリンピック競技大会が開催されます! 南アメリカ大陸では初めての開催、楽しみです! オリンピック開催地ブラジルは「音楽大国」。多数の民族、文化、歴史などが混ざり、誕生した音楽がたくさんあるのだとか。広大な土地であるため、国で発展するのではなく、複数ある地域ごとに独特の発展を遂げ、現在も進化を続ける音楽があるそうです。音楽から聴こえてくる音はどんな楽器なのか、オリンピック開催地リオ・デ・ジャネイロの音楽から由来や楽器を調べてみました。この夏はピアノ・クラシックとは雰囲気の違いを音楽を楽しんでみませんか? (お)

Choro
ブラジルのサロン・ミュージック
「ショール=泣く」というポルトガル語に由来
ショールの代表曲「カリニョーゾ」
試聴 <http://tower.jp> “フェイジョン・コン・アホイス” で検索
CD: フェイジョン・コン・アホイス Conjunto Epoca De Ouro (SMOOVE RECORDS / SSDS-9420)

Samba
現在も進化を続ける音楽
当時はマッパ箱やホーローの皿など
見の回りにあるものを使ったのしどいた
サバの最新の曲「ペロ・テレフォニ」
試聴 <http://tower.jp> “ブラジル音楽100” で検索
CD: ブラジル音楽100 ~ブラジル音楽のすべて (BMG JAPAN / BVCM-38063)

Bossa Nova
ポピュラー音楽に多大の影響を与えた
「ボサノヴァは新しい」という意味で
若者たちがつくった「新しい感覚」のサバ
ビートルズに次いでカヴァーされた「イパネマの娘」
試聴 <http://tower.jp> “イパネマの娘” で検索
CD: イパネマの娘 Antonio Carlos Jobim (ユニバーサル / UCCU-5561)

作曲家: ビニウス・ジ・モリス / アントニオ・カルロス・ジョビン
作詞家: トム・アサノ

「改訂版」のロゴとグリーンがふきだしが目印

田丸先生が
楽譜へこめる
想い
episode 02

お待たせしました! 『予習と復習のための おうちでもできる!』おんがくドリルとおんがくワークブックの第2巻がついに発刊されました。もちろん、田丸先生ならではの工夫、こだわりが随所にちりばめられ、カリキュラムは当然のこと、レイアウト、そしてイラストにもとても細かな配慮がなされています。どんな小さなことでもないがしろにせず、「使ってくれている子どもたち」のためになることなら絶対に妥協しない先生のやさしさが伝わるよう、編集部も頑張りました。どうぞお手にとって下さい! (か)

Q

『はじめてのテクニック ピアノのほん』シリーズ巻末の「指導のポイント」で、手首の使い方などが解説されていますが、あかね先生が実際に演奏している様子を見たいです。

A

『ピアノのほん』シリーズを対象とした「ピアノ・テクニックのレッスン法」というセミナーを行っております。「指導のポイント」の解説をはじめ、すてきな音をならすための手首の使い方や子どもたちへの声かけなどを、あかね先生の実演によって学ぶことができる充実したセミナーです。お近くの楽器店で開催されるようでしたら、ぜひご参加ください！

[受講された先生の声]
自分のテクニックを見直すきっかけになりました。手首の使い方などは、実際に見たほうがわかりやすいです！



今月のセミナースケジュール

8/26 (金) : [宮崎県/宮崎] 西村楽器 micc 本店
『楽しくおぼえる「おんぶ」と「けんぱん」のレッスン』

<動画でも解説しています！>



なかなか参加できる機会がない先生方は、YouTubeで公開されている解説動画をご活用ください。『ピアノのほん』1巻から3巻までの「指導のポイント」を、動画でわかりやすく解説しています。



「おんがく.net」から動画にアクセスできます♪
バーコードリーダーで読み取ってアクセス！



発掘！ オリジナル攻略法

No.8

～幅の広いアルペジオの弾き方～

《舞踏会のあとで》グレチャニノフ作曲
『新選ピアノ名曲120 初級 (P.24)』収録

情景を想像してみよう (様式)

グレチャニノフはモスクワ生まれの作曲家。リムスキー=コルサコフに作曲を学び、パリ、ニューヨークに拠点を移しました。交響曲や宗教曲など作品は多岐にわたりますが、とくに子供用の曲に定評があります。この曲は、1923年に作曲された15曲からなる性格的小品集《子供のアルバム》の第13曲です。Tempo di mazurkaは「マズルカのテンポで」という意味。ポーランドの民族舞踊であるマズルカは、ショパンの曲でも有名ですね。

形式は、①第1～8小節、②第9～16小節、③第17～24小節の典型的な三部形式です。舞踏会が終わり静かになった会場。そこにひとり立ち尽くす主人公。頭の中では演奏されていたマズルカのリフレイン——たとえばこんな物語の一場面を想像して、賑やかな楽しさのあとに待ち受けている寂しい虚しさ、のようなものを表現してみましょう。

7曲目はA. グレチャニノフ(1864-1956)作曲の《舞踏会のあとで》です。短い曲ですが、音色や和音の響きに細心の注意を払った繊細な表現が求められます。調性は口短調。前回より調号が増えて#が2つになりますから、譜読みにも気をつけましょう。

1. タイトル、速度標語、作曲家、形式から曲の様式を把握する。
2. 音型やリズム、和音から理論的に表現を考える。
3. ほしい音を出すための指や手首、腕の使い方を決めて、練習の指針にする。

それでは、攻略法にしたがって順にみていきましょう。

ドッペルドミナントの和音 (理論)

第①部では、第4小節にはじめて主音のH音が登場します。さらに第1～3小節のバスはドミナントのF#音です。そのため、まるで途中から始まったような印象を受けます。第2小節の和音はドッペルドミナントです。いきなり転調したように感じるかもしれません。ここでは不安定さを演出しているようです。第3小節でマズルカのリズムが現れ、安心感を得られます。二長調で始まる第②部では、スラーごとと同じメロディーで始まり、VとIの和音が繰り返されます。少々つこいように感じられるものの、第15、16小節で口短調のIVとVの和音が登場するため、やっと出口がみつかったような気持ちでクライマックスを迎えることができます。

第③部はFです。第①部のmpやクレシェンドやデクレシェンドとの対比を明確にして、消え入るように曲を終えましょう。

幅の広いアルペジオの弾き方 (カラダ)

第②部の左手は、音程が広い弾きにくいと思います。まず、それぞれの音をよく指を動かしながら弾いて、鍵盤が下がる感触を指で十分に確かめてみてください。次に、腕の重みもかけてそれぞれの音を弾きます。鍵盤ごとに腕が安定する位置を探り、慣れてきたらレガートにします。指が届かなくてもレガートを意識しましょう。最後に、レガートの腕の動きをペースにしながら指で音を短くします。腕の重みはC#音とD音に最もかけて、徐々に抜いていきます。



腕の重みを徐々に抜いていく

次回はマクダウェル作曲の《野ばらに寄す》をご紹介します。



黒田篤志 くらた・あつし

1973年生まれ。早稲田大学修士課程修了。日本アマチュアピアノコンクール7位入賞。出版社にて楽譜と書籍の編集を担当。現在小山市で、大人のピアノ教室“Lento レント”を主宰するかわら、フリーの編集者、ピアニストとして活動中。
http://ameblo.jp/pianote0519/



夏にぴったり!?

編集部おすすめのクラシック音楽!!

「夏」に関する曲や涼しげな雰囲気が味わえる曲などを、編集部の独断と偏見でご紹介いたします！素敵クラシック音楽を聴いて、暑い夏を乗り切りましょう！(の)

▶NML (ナクソス・ミュージック・ライブラリー) で試聴してきましょう! <http://ml.naxos.jp/>

「夏」といえば…の名曲は、やっぱりコレ!

- 劇音楽《真夏の夜の夢》(メンデルスゾーン)
- ブエノスアイレスの夏(ピアソラ)
- ヴァイオリン協奏曲集《四季》より《夏》(ヴィヴァルディ)
- 菊次郎の夏(久石譲)

涼しげな雰囲気が味わえるかも…!

- 水の戯れ(ラヴェル)
- 《巡礼の年 第3年》より《エステ荘の噴水》(リスト)
- 組曲《水上の音楽》(ヘンデル)
- 組曲《パール・ギュント》より《朝》(グリーグ)

ほかにも

タイトルに「夏」がついた曲がありました!

- バレエ音楽《四季》より《夏》(グラスノフ)
- 組曲《夏の夜》(プロコフィエフ)
- 夏の夜のワルツ(メリカント)
- サマー・スカイズ(アンダーソン)

情熱的な気分になれるかも…!

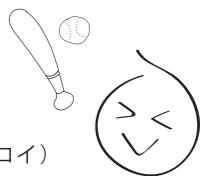
- バレエ音楽《ガイヌ》より《剣の舞》(ハチャトゥリアン)
- 交響曲 第5番《革命》より 第4楽章(ショスタコーヴィチ)
- 交響詩《ローマの噴水》《ローマの松》《ローマの祭》(レスピーギ)
- 威風堂々 第1番(エルガー)

寝苦しい夜にも◎

夜のリラックスタイムにおすすめ!

- 月の光(ドビュッシー)
- 夜想曲集(フォーレ)
- 3つのグノシエンヌ(サティ)
- 夢色モビールII (吉松隆)

【おまけ】
これを聴くと「夏だな〜!」と感ずます! 高校野球応援の定番曲! アフリカン・シンフォニー(マッコイ)



Music Quiz

あの大作曲家が実はスイツ男子!?

Q モーツァルトが父へ宛てた手紙の中でも話題にするほど好きだったスイツは次のうちどれでしょうか?

- ① いちごのシャーベット
- ② スミレの砂糖漬け
- ③ ザッハトルテ

答え: 1. いちごのシャーベット
16世紀にフランスの宮廷に伝えられ、貴族のぜいたく品だったシャーベット。18世紀にはヨーロッパ中に広がり、大衆を魅了しました。モーツァルトもシャーベットの魔法にかかったひとり。演奏旅行に出かけた際、故郷ザルツブルクのカフェで食べた、いちごのシャーベットを恋しがる手紙を父に宛てています。モーツァルトの姉の日記でも、彼がシャーベットを愛していた様子が記されていたとか。当時のシャーベットは、山から取った氷をすずの器に入れ、果汁を加えて周りを冷やして作っていたそうです。この夏は当時のモーツァルトに想いを馳せながら、いちご味のシャーベットを楽しんでみてはいかがでしょうか。

新刊情報	中学生ブラバン天国
書籍	オザワ部長のあるある吹部訪問 著:オザワ部長

オザワ部長による、中学校吹奏楽部にスポットを当てた書籍が発刊!

『きばれ! 長崎ブラバンガールズ』、『吹部ノート』、『みんなのあるある吹奏楽』シリーズの著者が中学吹奏楽部員に贈る、強豪校の部活の実態を紹介する吹部訪問、オザワ部長と名指導者や有名人との対談、演奏会やコンクールレポートなど、日々の吹部活動に役立つ一冊。



▲実際の部員たちの様子や練習風景などの写真もたっぷり掲載 (写真は羽村一中) ■A5判/164頁/本体価格1,000円(税別)